

第2回島田市平和都市宣言制定委員会報告書

日時 平成26年2月24日（月）午後7時～

場所 島田市役所会議棟D会議室

1. 議題等

各宣言文素案に対する意見について

- ・次ページ以降のとおり1案から4案に対する意見が交わされた。
- ・それぞれ1番気に入ったものと2番目に気に入ったもの人数は以下のとおり。

	1番	2番
1案	2人	2人
2案	4人	1人
3案	1人	4人
4案	5人	3人

2. 今後の対応について

(1) 素案の絞り込みと最終案の作成について

ア 委員からの意見を踏まえた各案の評価

- ・1案については、評価する意見もあったが、「威圧的な感じがする。」
「生々しい印象を受ける。」などの意見があり、若い世代を中心に拒否反応ともいえる結果を招くことが懸念され、広く市民と共有する宣言としては不適切ではないかと思われる結果となった。
- ・2案は、4案に次いで好評であったが、簡潔すぎるとの意見が出された。
- ・3案については、1案と同様に評価する意見もあったが、条立てによる表現が規則のようで強制されているような印象を受けるとの意見も出された。
これは、市民の主体的な平和への取組みに期待する宣言文としては疑問であると思われる。
- ・4案が最も好評であり、否定的な意見も出されなかった。

イ 基本となる素案の絞り込み

子供から大人まで親しみやすい宣言にするという基本方針及び制定委員会での意見等を踏まえ、4案を基本として、2案で述べられている大井川に象徴される自然豊かな島田市の個性を盛り込むなど、補うべき要素を加えることが妥当であると判断した。

ウ 最終素案の作成について

今後、事務局において修正案を作成するについては、委員会での意見を踏まえる一方、文章全体の繋がりや用語などを検討するとともに内容に矛盾がないかなどを考慮する必要がある。そのため、4案の基本構成は残しつつ文章表現については全体的な見直しにより最終素案を作り込んでいくことになると思われる。

(2) 議会との連携について

議会へ情報提供と意見の反映については以下のとおり調整していく。

- ① 制定作業の状況と制定委員会での意見を踏まえた修正素案を市議会に示し、市議会としての意見を取りまとてもらおうよう依頼する。
- ② 議会から出された意見については、最終素案の中に可能な限り反映させていく。

(3) 原案の作成について

上記(1)(2)により作成した最終素案を第3回制定委員会で検討し、必要な修正を加えたうえでパブリックコメントにかける原案とする。

議会からは、原案に対する追加意見をパブリックコメントに平行して受け付ける。

3. その他

(1) 次回委員会の日程は、3月25日（火）午後7時から

(2) 今後の流れについて

- ① 議会への報告（第2回制定委員会の結果等）
- ② 議会からも素案に対する意見をいただく
- ③ 制定委員会と議会の意見を踏まえ素案を修正
- ④ 第3回制定委員会で修正案を検討し、原案としてひとつにしぼる（必要な再修正を加える。）。
- ⑤ 議会への報告（第3回制定委員会の結果と原案）
- ⑥ 原案に対する議会の意見をいただく
- ⑦ パブリックコメント
- ⑧ 第4回制定委員会で議会とパブリックコメントからの意見を踏まえ最終調整

島田市平和都市宣言

あと何人、家族と友達を失えば争いがなくなるのでしょうか。
あと何人、子供たちが飢えれば世界中が豊かになるのでしょうか。
あといくつ、核兵器があれば平和が保障されるのでしょうか。
どこまで奪えば欲望が満たされるのでしょうか。
いつまで差別していじめ続けられれば安心できるのでしょうか。

平和 それは誰もが望んでいることです。

今を生きるわたしたちは
健康でおだやかな日々の中に小さな喜びを見つけ
互いに助け合える地域を守りつづけ
大井川の清流に育まれた自然豊かなふるさとで
安心して学べる尊さを子供たちに伝えていかなければなりません。

島田市は
先人が築いてきた歴史と財産を活かし
平和を願うすべての人たちとともに
笑顔があふれる未来を目指して歩む平和都市であることをここに宣言します。

<構成>

戦争や社会問題などがもたらす悲劇について考えてもらうため、象徴的な事柄を問いかけのかたちで示し、現在の島田市がなすべきことを取り上げ、恵まれた環境を自分たちだけのものにせず、世界の人たちと協力して平和の実現を目指す決意で締めくくる構成としています。

1. 問いかけ
2. 今の環境のなかで取り組むべきこと
3. 未来の平和のための決意を示した締めくくり

	本文	説明
1	<p>あと何人、家族と友達を失えば争いがなくなるのでしょうか。</p> <p>あと何人、子供たちが飢えれば世界中が豊かになるのでしょうか。</p> <p>あといくつ、核兵器があれば平和が保障されるのでしょうか。</p> <p>どこまで奪えば欲望が満たされるのでしょうか。</p> <p>いつまで差別していじめ続ければ安心できるのでしょうか。</p>	<p>争いや奪い合い、差別やいじめがいかにかに愚かで悲しいことかにかに気づき、そのことについてあらためて考えてもらうための問いかけです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・争い続けることは、大切な命が失い続けることであることを実感してもらおうとするものです。 ・南北問題に象徴されるように、紛争や経済活動のなかで弱いものが犠牲になっていること、わたしたちの暮らしもそうした社会構造の一部となっているのではと考えてもらおうとするものです。 ・核兵器が戦争を抑止しているという核開発国の論理について考えてもらおうとするものです。 ・戦争や略奪行為だけでなく自然破壊も含めた過剰な欲望が平和な世の中を壊しているのではとの問いかけです。 ・差別やいじめを引き起こしてしまう人間の本质について考えてもらおうとするものです。
2	<p>平和 それは誰もが望んでいることです。</p> <p>今を生きるわたしたちは 健康でおだやかな日々の中に小さな喜びを見つけ 互いに助け合える地域を守りつづけ 大井川の清流に育まれた自然豊かなふるさとで 安心して学べる尊さを子供たちに伝えていかなければなりません。</p>	<p>人類共通の願いである平和は、何気ない日常のなかでこそ実感できるものであり、その尊さを後世に残していくのが今を生きる人たちの責任であることを表現しています。平和を実感できることと取り組むべきこととしては、市民アンケートでも寄せられた内容を取り上げました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康で平穏な日常の大切さ ・助け合い、地域コミュニティ ・自然、ふるさと ・自由に学べることの尊さをかみしめ、子供に伝える責任を自覚する <p>※ 子供たちが安心して学校に通えるということは、全ての平和の要素がそろっていることの証であると考えました。</p>
3	<p>島田市は 先人が築いてきた歴史と財産を活かし 平和を願うすべての人たちとともに 笑顔があふれる未来を目指して歩む平和都市であることをここに宣言します。</p>	<p>先人の努力を無駄にしないことに加え、「平和と平等を目指す国際社会において名誉ある地位をしめ、自国のことのみ専念してはならない。」という憲法前文の精神に基づき、恵まれた環境を島田市だけのものにせず、世界の人々とも手を取り合っ、だれもが笑顔で暮らせる未来を実現するために行動していく平和都市であることを宣言するものです。</p>

島田市平和都市宣言

悠久なる大井川に見守られ
雄大な山の緑に癒され
戦争による多くの悲しみを乗り越え
わたしたちは今を生きています。

大井川の清流を守り
自然豊かな山を愛し
まわりの人を思いやり
全ての人が助け合い安心して
日々小さな幸せを感じながら暮らしていけるよう
そして 笑いがあふれる地域になるよう
わたしたちは行動します。

島田市は
平和な社会の実現に向け
ここに「平和都市」を宣言します。

<構成>

戦後の復興が自然の恵みとともにあったことを述べ、未来のためにすべきことについての決意を述べて締めくくる構成としています。

1. 自然の恵みと過去の歴史
2. 平和への行動の決意

	本文	説明
1	<p>悠久なる大井川に見守られ 雄大な山の緑に癒され 戦争による多くの悲しみを乗り越え わたしたちは今、生きています。</p>	<p>普段、なにげなく生活している中で、実は自然の恩恵を受け、過去の犠牲の上に生きていることを認識し、感謝の思いをあらわす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の恵み ・生きる、命の尊さ
2	<p>大井川の清流を守り 自然豊かな山を愛し まわりの人を思いやり 全ての人が助け合い安心して 日々小さな幸せを感じながら暮らしていけるよう そして 笑いがあふれる地域になるよう わたしたちは行動します。</p>	<p>将来のためにやらなくてはならないこと、普段の生活において自分の周りの人・もののためにできること (なるべく普段の目線に近いもので、アンケートで多かったキーワードを並べました)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然保護 ・思いやり ・安心、相互扶助 ・笑い、地域 ・行動
	<p>島田市は 平和な社会の実現に向け ここに「平和都市」を宣言します。</p>	<p>島田市から発信する宣言としています。</p>

平和都市宣言文案

南アルプスの懐深くに源をおく大井川。この清らかで、時には激しい流れに寄り添いながら、固有の文化と歴史を育んできた島田市。

自然と共生し、先人たちが築き上げた“幸せに生きる英知”を、私たちはこれからも深めながら未来へ引き継ぎ、平和都市として歩むことを宣言します。

一、心身ともに健康で、みんなで支え合い、
個性を認め合う社会を築いていきます。

一、家族の幸せをたいせつに、さらに、
他者への思いやりの心をより深く育てます。

一、みんな笑顔でお茶が飲め、出会いをだいじにし、
仲良しでいられるように努めていきます。

一、争いや災害の歴史を忘れることなく、
繰り返さない努力を惜しみません。

一、足るを知り、便利さや手間を惜しむあまり、
地球を傷つけていないか、お互いに確認して、力強く生きることを誓います。

<構成>

私たちが安心安全に暮らしていくためには、安定した生活環境が必須であり、その根幹である自然環境を私たち自らの手で壊すようなことになってはなりません。古来、人間は自然と共生することでその恩恵に与り、生命を維持してきました。また、現代社会の繁栄は先人たちの経験の積み重ねにより成り立っており、現代文明の進化の側面として失われつつある事柄の中には、人々が幸せに生きるためのヒントがあります。これらに過去の教訓と現代的な課題を、日々心掛けることができるよう絶えることのない努力を誓うものであります。

1. 前文
2. 決意

	本 文	説 明
1	南アルプスの懐深くに源をおく大井川。この清らかで、時には激しい流れに寄り添いながら、固有の文化と歴史を育んできた島田市。	島田市の豊かな自然環境とそこで育まれた独自の文化と歴史があることを述べています。（生きる源である清き水をもたらし、“暴れ川”や徒渉制度など大井川の存在は島田市の形成に大きく関わってきました。） ・自然環境、生活環境、災害（自然への畏怖と敬意） ・文化、歴史
2	自然と共生し、先人たちが築き上げた“幸せに生きる英知”を、私たちはこれからも深めながら未来へ引き継ぎ、平和都市として歩むことを宣言します。	自然や歴史と上手に付き合いながら培った先人たちの知恵のおかげで今があることを認識し、それを発展させながら後世へ残していくことが平和へのヒントとなることを表現しています。 ・自然 ・先人の努力、知恵 ・伝える
3	一、心身ともに健康で、みんなで支え合い、個性を認め合う社会を築いていきます。	以下、アンケート等でも寄せられた重要と考えられるテーマを挙げています。「心身の健康」、「助け合い、協力」、「相互理解」、「差別、偏見をなくす」。
4	一、家族をたいせつにし、さらに、他者への思いやりの心をより深く育てます。	「家族の幸せ」、「思いやり」
5	一、みんな笑顔でお茶が飲め、出会いをだいじにし、仲良しでいられるように努めていきます。	「笑顔」「ほっとする時間」「平穏な日常」、「コミュニケーション」、「交流、友好」、「仲良し」
6	一、争いや災害の歴史を忘れることなく、繰り返さない努力を惜しみません。	「過去の教訓を忘れず、後世へ伝えること」
7	一、足るを知り、便利さや手間を惜しむあまり、地球を傷つけていないか、お互いに確認して、力強く生きることを誓います。	「むだをなくす」、「環境保全」、「人間以外のすべての命に対する配慮」

島田市平和都市宣言

「おはようございます。」

「お元気ですか。」

「ハイ、おかげさまで。」

何げないあいさつを交わしあえるよろこび。

それは、平和という名の宝石の日々

でも、この幸せは先人のみなさん方の命と

ひきかえにした重い重い「代償」

今を生きる私たちに課されたものは、

「平和」をどう繋げてゆくか

歴史に学ばない者に未来を語る資格はありません。

伝えるために私たちは叫びます。

今日より明日をいい日にしよう。

私以外のだれにも、そう、自然にも感謝しよう。

何ものにも代えがたい「平和」のために、

私たち島田市は平和都市を高らかに宣言します。

<構成>

平和の象徴として毎日交わされるあいさつを導入とし、平穏な日常の尊さと、それが過去の犠牲のうえにあることを述べ、後段は、平和の尊さを未来に継承していく責任とそのためすべきことを提言して締めくくる構成としています。

1. 何気ない毎日のコミュニケーションの尊さ
2. 過去の犠牲
3. 今を生きる人の使命
4. 締めくくり

	本 文	本 文
1	<p>「おはようございます。」 「お元気ですか。」 「ハイ、おかげさまで。」</p> <p>何げないあいさつを交わしあえるよろこび。 それは、平和という名の宝石の日々</p>	<p>安心に裏付けされた何気ない日常で交わされるあいさつを平和の象徴としてとりあげ、市民アンケートでも寄せられたキーワードで表現しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気（健康） ・笑顔（笑い） ・今を生きる
2	<p>でも、この幸せは先人のみなさん方の命とひきかえにした重い重い「代償」</p>	<p>今の日本の平穏な日常が過去の多くの犠牲と先人の努力によって築きあげられたものであることを述べています。</p>
3	<p>今を生きる私たちに課されたものは、「平和」をどう繋げてゆくか 歴史に学ばない者に未来を語る資格はありません。</p> <p>伝えるために私たちは叫びます。 今日より明日をいい日にしよう。 私以外のだれにも、そう、自然にも感謝しよう。</p>	<p>未来のために何が必要で、私たちには何ができるのかを提言しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝える ・訴える ・明日への希望 ・感謝 ・善悪の教育
4	<p>何ものにも代えがたい「平和」のために、 私たち島田市は平和都市を高らかに宣言します。</p>	<p>島田市から発信する平和宣言となるよう締めくくっています。</p>